

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ICT機器の活用が進んだ。
- ・感染症対策をとりながらも、豊かな響きの歌声で歌えるようになってきた。
- ・器楽の学習を通して階名唱が定着した。

(2) 課題

- ・感染症対策のため、あまり取り組めていなかった歌唱の学習を充実させる。発声や発音に気を付け、響きのある歌声を目指す。
- ・感染症対策のため取り組めていなかったリコーダー、鍵盤ハーモニカのタンギングや運指などの指導を充実させる。学年の学習内容に応じて必要な指導を行い、演奏技能の定着を目指す。
- ・対話的、協働的な活動を通して、表現・鑑賞・音楽づくりの学習内容を深めていく。手だての選択肢の一つとしてICT機器を活用する。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策のため取り組みができなかった、自然で無理のない声で歌う技能が身に付くようにする。 ・感染症対策のため取り組みができなかった鍵盤ハーモニカの息の使い方やタンギングを定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムに合わせて身体表現しながら、音楽の楽しさを味わえるようにする。 ・音色やリズム、旋律や音の重なりを聞き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取れるような指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友達の表現した音楽に興味関心をもち、拍にのって声や音を重ねて表現する学習に楽しく取り組めるようにする。 ・表現した音楽を、お互いに聴き合い高め合う活動を多く取り入れる。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・体の使い方に気を付けながら、無理のない発声を身に付けられるようにする。 ・感染症対策のため取り組みができなかった、自然で無理のない声で歌う技能が身に付くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対話的、協働的な学習活動をとおして、聴き取ったことと感じたことを共有し、考えを広げたり深めたりしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学びを最後までつなげて深めていくために、見通しと振り返りや学習したことの系統性・つながりを明確にする。 ・練習用動画や音源などICT機器を活用し、個別最適な学習につなげる。

<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーでは、基本的な奏法と新しい運指を身に付けて演奏できるよう、スモールステップで指導する。 		
---	--	--

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の特徴や歌詞の内容を考えて表現を工夫し、言葉が伝わるように発音に重点を置いて歌唱指導の充実を図る。 ・声の重なりを感じ取って合唱することができるようにする。 ・感染症対策のため取り組みのできなかつたリコーダーの基本的な奏法を確かめ、新しい運指を身に付けて演奏できるよう、楽曲に合わせて指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対話的、協働的な学習活動をとおして、音楽を形づくっている要素と曲想の関わり合いを感じ取って、構造の理解を深められるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学びを最後までつなげて深めていくために、見通しと振り返りや学習したことの系統性・つながりを明確にする。 ・練習用動画や音源など ICT 機器を活用し、個別最適な学習につなげる。